葛葉川ふるさと峡谷だより

2019年

11月号

くずは

２０１９．１１．１０
発行　くずはの家
〒257-0031 秦野市曽屋1137
TEL&FAX　0463(84)7874

今月の話題　『空中の五線譜』

ジョロウグモの網

秋晴れの空の青さを背景に、ジョロウグモが金色の大きな網を広げています。

私たちは普段、この網を「クモの巣」と呼んでいますが、本来は住居として使うものを「巣(英語ではネスト nest)」と言い、獲物を捕らえる構造物である「網(英語ではウェブ web)」とは区別します。ジョロウグモや似た模様のコガネグモはいつも網の真ん中にいるので、網は一部、巣も兼ねているようですが、オニグモなどは昼間は網から離れたところの巣にかくれていて、夜になると巣から出て網を張り、餌をとらえるので、こちらの「クモの巣」は明らかに「クモの網」です。

秋のジョロウグモの網は、梢の間のとても高い空間によく見られます。真ん中にいる大きなクモは、全てメスです。では、このクモのオスはどこにいるのでしょうか？晩秋の現在では、少なくなってしまいましたが、メスの網をよく見ると、メスと同じような形をしていて、一回りも二回りも小さいクモが１匹あるいは数匹同居しているのを見ることができます。これがオスです。春に生まれてから８月頃までは大きさもメスと変わらず、単独で網を張っていますが、８月末頃から同居するためメスの網に移り住み、交尾の機会を待っています。

クモは、遠く離れた枝と枝の間にどうやって網を張るのでしょうか？ 先ずは、枝から枝に橋糸(はしいと)というものを架けることから始まります。一方の枝の先につかまり、お尻の先の糸疣(いといぼ)からたくさんの細い糸を風に乗せて流します。この糸が離れた枝に絡まると、糸をたぐり寄せ自分も糸を出しながら往復し、橋を架けます。橋が架かると、橋糸の真ん中辺りから下に降りて、Y 字型の足場を作ります。この足場を使って周辺に枠糸と縦糸を同時に張っていきます。縦糸が張られると、中心部(ここを「こしき」と言います)から枠糸に向かって、らせん状に粗い足場糸を張ります(ここまで使う糸には粘性がありません)。その後、枠糸側から足場糸を切りながら、こしきに向かって粘性のある横糸がらせん状に張られていきます。これが円網の基本的な張り方なのです。しかし、ジョロウグモの場合、横糸をこしきに対してらせん状に張らず、左右に振り子のように行ったり来たりして張っていきます。また、最初に作った足場糸を切らないので、横糸４、5 本おきに粘液の付かない横糸のある隙間が生まれます。さらに、ジョロウグモの糸には黄色い色素が含まれるので、特に粘液の付いた横糸は黄色く見えます。

日差しが傾き、夕日がこの網に当たると黄色い五線譜がキラキラと輝きます。どんな音楽が聞こえてくるのでしょうか。

文･写真：くずはの広場　高橋孝洋

＊＊＊

くずはの広場観察路マップ

2019年11月1日調べ

①～⑭には観察板があります。
回ってみましょう！

凡　例
- △ つぼみ
- ▲ 咲き始め
- ○ 開花
- ◎ 満開
- ● 咲き終わり
- ◇ 実
- ◆ 熟した実

カワガラス　撮影：小泉俊江氏

エゾビタキ　撮影：小泉俊江氏

10月の野鳥

（10月1日～11月1日調べ）

1、キジバト
2、アオサギ
3、ヒメアマツバメ
4、トビ
5、コゲラ
6、アオゲラ
7、モズ
8、カケス
9、ハシボソガラス
10、ハシブトガラス
11、ヤマガラ
12、シジュウカラ
13、ヒヨドリ
14、ウグイス
15、エナガ
16、メジロ
17、カワガラス
18、ジョウビタキ
19、イソヒヨドリ
20、エゾビタキ
21、キビタキ
22、スズメ
23、キセキレイ
24、ハクセキレイ
25、セグロセキレイ
26、ビンズイ
27、カワラヒワ
28、アオジ
29、コジュケイ
30、ガビチョウ
31、ソウシチョウ

チョウ・ガの仲間

クロアゲハ
アオスジアゲハ
ナガサキアゲハ
ツマグロヒョウモン
アカボシゴマダラ
アサギマダラ
クロコノマチョウ
キタテハ
ルリタテハ
アカタテハの仲間
イチモンジチョウ
コミスジ
クロヒカゲ
ヒカゲチョウ
ヒメウラナミジャノメ
スジグロシロチョウ
キタキチョウ
イチモンジセセリ
ウラギンシジミ
ヤマトシジミ
ツバメシジミ
ベニシジミ
ウラナミシジミ
ホシホウジャク
ユウマダラエダシャク
ホタルガ
シロオビノメイガ

ハチ・アブ・ハエの仲間

キイロスズメバチ
キムネクマバチ
トラマルハナバチ
マルハナバチの仲間
キンケハラナガツチバチ
ヒラタアブ
ホソヒラタアブ

カメムシの仲間

ツヤアオカメムシ
チャバネアオカメムシ
キマダラカメムシ
マルカメムシ
アブラゼミ
ミンミンゼミ
ツクツクボウシ
ツマグロオオヨコバイ
タテスジグンバイウンカ
アザミオオヒゲナガアブラムシ
ウコギトガリキジラミ

バッタ・コオロギの仲間

コバネイナゴ
ツチイナゴ
オンブバッタ
ハラヒシバッタ
ノミバッタ
セスジツユムシ
ハラオカメコオロギ
ツヅレサセコオロギ
シバスズ
マダラスズ
クサヒバリ
カネタタキ
アオマツムシ

トンボの仲間

ウスバキトンボ群れ
アキアカネ
オオアオイトトンボ

カブトムシの仲間

ノコギリクワガタ
オオセンチコガネ
ゴミムシの仲間
ナナホシテントウ
ナミテントウ
ハスジカツオゾウムシ
クロウリハムシ

その他の仲間

ヤマトシリアゲ
オオカマキリ卵鞘
コカマキリ
ムネアカハラビロカマキリ

くずはの広場トピックス

エゾビタキ…10月4日
夕方高い梢に止まって、ひらりとひと飛びしてはまた止まる。そんなことを繰り返す餌取りの様子が確認されました。

台風の爪痕…10月12日
台風１９号の今迄記録にない豪雨は、葛葉峡谷のあちこちで、岸を削り樹木を流し…３カ所の渡渉石は復旧の目処が立っていません。

ヨコヅナサシガメ…10月14日
今年もいました！毎年同じソメイヨシノの同じ場所で、ヨコヅナサシガメの幼虫が集団越冬をします。条件が良くたまたま集まるのか、理由は分かりませんが、観察にはもってこいです♪